

総括 (ファインナル・レポート)

- ・出展者/来場者は微減 出展者73ヶ国2,810社(日本23社) 来場者89,000人(日本人1,559人)
- ・ホームテキスタイルマーケットは世界的に低調が続いてきたが今年は明るい見通し
- ・新規のバフォーマンスの企画「トレンド・サテライト」 カテゴリー別のトレンド発信も連動
- ・会場外フランクリン市内の専門店と連動 「TREND-FORUM」→サテライト「sleep & dream kitchen & culture Heimtextil goes City」市内のインテリアデコレーター wall & decor
- ・家具店、H/P店、ベットのショールーム、インテリアショップ、ベットの専門店開催
- ・今年で2回目、大変好評。 *2006.6.13-14 第5回ヨーロッパベッドフェア開催

- ・新鮮な風吹き始める 昨年のカラートレンドの発信の影響で色調が変わるR・O→アール・デコカラー、高級さが再び戻る
- ・魅力的なテキスタイルは「業敵な雰囲気やボジティブな環境作り」に効果的
- ・第2回「キャンパス・未来のデザイン」ドイツ国内の4つの芸術学校新しいアイデア、実験(例)磁気テープと毛糸から作られた「織るテキスタイル」、新聞発製品、テキスタイルを使用した様々のアイテム。
- ・伝統とモダンの架け橋となる新テキスタイル 3Dスベアーファブリック、テクニカル処理と手仕上げの組み合わせなど質の高いデザインと高品質テキスタイル。 各社とも好評、成果あった。
- ・日本の出展社(ジバング、カツクラ、メゾン・ド・デュピス、ユーロ「テネリータ」、プレイリー・ドッグなど)

<p>Deco & Style</p> <p>(全体) ビジネス堅調、華奢弱まる ・IAB復帰するが北歐、仏、スイス、オランダなどの有名ブランド企業出展せず。 ・ラグ閣下DOMOTEXへ統合か? ・昨年のトレンドを受けたモノ作り進む。シンプル、ナチュラルをベースにフェミニン・ラグジュアリー感覚続く。一方でマニッシュ感覚クロームアップ。 (スタイル) シャープでシンプルな傾向続く ・シェード、ブラインドが新しいカーテンスタイルとして広がっている感強い。 ・デコラティブ化の動きもあるが弱い。 ・スライドスクリーン、ロールスクリーン、バーチカルブラインドの人気上昇、シェードと薄手カーテンとの併用スタイル拡大。 (生地タイプ) ライト感覚続く、シルキータイプ増 ・ナチュラル&レトロ感 特に麻素材、麻地ベースのプリント、ケースメントタイプ。 ・シルキータイプの薄手→ブロード、ダマスクの厚手まで。ハリ、コシのあるタイプ。 ・凹凸感、豊かなテクスチャー ・シワ加工、ステレススヤーン使い、エンボス、フロッキーなど。 ・有毛タイプの増加 フェミニン〜マニッシュまで中ベルベット、シール、ファー、フェニール〜モケット、シャギー ・ハイテク ・化粧品のメタメタ、キラキラ感、透明感。 ・異質なタッチの組み合わせ ・ラスチック/グライツ、細番手/ホームスパン。 ・ダマスク織り モダン〜クラシックまで。 ・オーブンワーク ケースメント、編み、カットワーク、ヒートカットなど。 ・布以外の変化のある素材 皮、レザー、羽根など</p>	<p>(パターン)</p> <p>・パロックのタテ幹草柄 ・フラットな表現プリント〜ジャカードまで。 ・アール・デコ柄、大胆な幾何、抽象の大柄 ・マルチストライプ ラメ入り、ラグジュアリー〜縞のベージュまで。 ・野草のシルエット 昨年以上に増える ・単色〜多色、小柄〜大柄、線的表現〜面的表現まで多様化。 ・日本の家紋、切り紙模様 ・バラのモチーフ 少しラフなタッチに。 ・レトロ調の麻地プリント アシュレー調。 ・多彩なプリントテクニク ・フロッキー、オパール、箔プリント、パールなど。 (レール) 大きな変化なし ・細い、シャープさ、シンプルさ続く ・出展企業減、光りダイオード使い増。 ・タセルの多様化 ビーズなど素材の多様化。</p> <p>Sun & Shadow</p> <p>(全体) 窓装飾としての人気のスタイルとしてクロームアップ ・空間をよりシンプンに、より広く演出したいライクに、フラットタイプ人気。 ・シャープスタイル、パネルスクリーン(穴開き)、プリーツスクリーン、タテ型ブラインド、ウッドのベネシヤンブラインド。</p> <p>Cushion & Accessory</p> <p>(全体) 少し減少気味(床、圧倒的に多い) リビング系とベッドルーム系及びテラス別でクリオティン、スタイル、ディテール異なる。 ・リビング 凹凸感、凝ったディテール。 ・ベビー、ラグジュアリー、トリミング付き、ゴブラン、風通、ウール、ダマスク、エンボ、クロッシェレース、ピンタック、スモックなど。</p>	<p>ベット フラット、ベトリネンズ類、スローケー ットとのコーディネート。 ピンタック、フリル、ダブルヘム、パネル、エンボ、 プリント、ストライプ&チェックなど。</p> <p>Ket & Throw-ket</p> <p>(全体) 昨年に続き増加、重要アイテムに ・フランケットタイプより手織り感覚、ニット、洗い晒しのキルトタイプなど多彩に。 ・ウール、モヘア、カシミヤ、ラムなど高級素材 ・ローシルク、ウールのファンシーヤーン使い ・カラーミックスのツイード、シェニールタイプ ・リビングのアクセサリーとベットのスローとして。</p> <p>Sleep & Dream</p> <p>(全体) Dreamlandゾーンの有名ブランド(特に、フランス)の出展減 (パターン) 無地→柄要素増える、柄傾向は昨年の延長 ・バラのモチーフ 少し、崩した表現、水彩タッチ ・大小のバリエーション ・野草のシルエット 多くなる、単色〜多色まで、大〜小まで、線的表現〜面的表現 ・日本の家紋、切り紙調 ・昨年のトレンドの影響か?増える ・マルチストライプ&チェック ・細い縞での多色な色使い ・線描きの幾何、抽象 ・自由に気ままな線 ・切り紙、家紋調モチーフ。</p> <p>(カラー) アール・デコカラー、やソフトに ・色調変化。昨年発信のトレンドズカラーの具体化 ・BE/LGB、BR/LGBの配色目立つ。 ・その他DBR/GB、P/BE、P/LGR、BE/YG、W/BK、BE/BKなど</p>	<p>・ドイツ国内は圧倒的にR・O・Yカラー〜緑〜カラ (その他) ・羽毛布団(合繊も含めて)白のヌード一色。 ・高級プリント使用の制地始ど無し ・興和織「テネリータ」出展 ・白、生成りでリネンズ類をトータルに初めての出展だがママアアの感があった。</p> <p>Kitchen & Culture</p> <p>*コーティングタイプのテーブル・キッチン布地タイプに統合 (全体) リネンタイプ増 生成りのラスチック〜白晒しのフェイナなタイプまで ・ベトナム製味噌の減少、ダマスクタイプも減る (パターン) 他、ベトリネンズと同様。 ・野草のシルエット多い。切り紙、果物モチーフなど、水彩タッチの花柄プリント、ダマスク織りなど (カラー) R・O・Y・YG→辺倒からソフトなアール・デコカラー。 BBXIGB配色、BK、G</p> <p>Fresh & Splash</p> <p>(全体) 無地基調変わらず ・素材請求(フェイクアークオリティ) ・コットン、リネン、シルク、バンブー(エコソフト) ・洗面マット、トイレタリー、シャワーカーテンはカジュアルPOP調。 ・無地+ボーダー(シンプルな) ・無地+刺繍+小花・ボーダーのサイズ別展開 (カラー) モデレートトーン、パステル</p> <p>Wall & Deco</p> <p>(全体) トレンドにのり況況'60-'70年代調とメタリック、柄の要素強くなる</p> <p>Floor & more 出展者減→DOMOTEXへ</p>
--	---	--	--